

情報通信審議会 総会（第37回）議事概要

1 日時 平成28年7月7日(木) 14時00分～15時47分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

内山田 竹志（会長）、青木 玲子、浅沼 弘一、安藤 真、石戸 奈々子、
泉本 小夜子、熊谷 亮丸、三瓶 政一、鈴木 陽一、須藤 修、
竹村 詠美、谷川 史郎、知野 恵子、新美 育文、根本 香絵、
野間 省伸、前田 香織、三尾 美枝子、水嶋 繁光、村本 孜、
森川 博之、山内 弘隆（以上22名）

(2) 臨時委員（敬称略）

村井 純（以上1名）

(3) 総務省

太田 直樹（総務大臣補佐官）、福岡 徹（総務審議官）、
山田 真貴子（官房長）

(情報通信国際戦略局)

谷脇 康彦（情報通信国際戦略局長）、鈴木 茂樹（総務審議官）、
武田 博之（官房総括審議官）、小笠原 陽一（情報通信政策課長）、
野崎 雅稔（技術政策課長）

(情報流通行政局)

南 俊行（情報流通行政局長）、今林 顯一（政策統括官）、
今川 拓郎（情報流通振興課長）

(総合通信基盤局)

富永 昌彦（総合通信基盤局長）

(4) 事務局

吉田 博史（情報通信国際戦略局参事官）

4 議 題

(1) 答申事項

①「新たな情報通信技術戦略の在り方」第二次中間答申（案）について

【平成26年12月18日付諮問第22号】

【内容】

本件は、平成26年12月に総務大臣より諮問を受け、平成27年7月に第1次中間答申を行い、その後も、当審議会の情報通信技術分科会において、審議を重ねてきたもの。IoT/ビッグデータ/AI時代の到来により、産業構造の変革が起こり、「プラットフォーム」と「データ」と「人工知能」を制するものが勝つというゲームチェンジがあらゆる産業分野で起きる可能性がある。このような中で、我が国全体で国際競争力を維持・強化するために、「スマートIoT推進戦略」と「次世代人工知能推進戦略」を取りまとめた。さらに、若い世代が世界と伍していくための新時代の「人材育成策」と「標準化戦略」をまとめた。

審議の結果、情報通信技術分科会からの報告のとおり中間答申することとした。

②「IoT/ビッグデータ時代に向けた新たな情報通信政策の在り方」

第二次中間答申（案）について

【平成27年9月25日付諮問第23号】

【内容】

本件は、昨年9月に総務大臣より諮問を受け、12月に第1次中間答申を行い、その後も、当審議会の情報通信政策部会において、審議を重ねてきたもの。今回の第2次中間答申（案）では、第1次中間答申を踏まえ、既に先の国会で法律改正が行われたテストベッド・セキュリティ演習のほか、今後取り組むべき政策として、①データ利活用促進、②ソフトウェア化に伴う人材育成、③仮想化技術等のネットワーク投資の促進、④こうした技術・サービスの国際展開・標準化、の4点から、それぞれの取組の明確化・具体化を行ったもの。

審議の結果、情報通信政策部会からの報告のとおり中間答申することとした。

(2) 報告事項

情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について

【内容】

情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について、事務局より報告があったもの。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 加藤、中山

電 話：03-5253-5957

FAX：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。